



▲塩屋埼灯台 (いわき市)

“新しい計量制度で
活力ある豊かな社会”

計量ふくしま

発行人
(一社)福島県計量協会
〒960-8670
福島市杉妻町2-16
福島県計量検定所内
電話・FAX(024)521-4035
メールアドレス
fk-fukushima51@rapid.ocn.ne.jp

令和6年の新たな年を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、健康やかな年を迎えられたことと存じます。昨年を振り返りますと、5月には、新型コロナウイルス感染症の位置づけが、「新型インフルエンザ等感染症（2類相当）」から「5類感染症」となり、一昨年と比べて、人や物などの動きが活発となり、社会・経済活動がより活性化してまいりました。

また、10月からは、商品やサービスの取引に関する「インボイス制度」が始まりました。これまで、消費税の免税事業者となっておりました団体等においても、取引の透明性を確保するために、様々な取引事象において、その都度、悩み考えながら団体等において適正に対応しています。

計量関係では、5月の一般社団法人日本計量振興協会通常総会時において、福島県計量証明事業者協会の「渡辺恒夫氏」と「銘形賢一氏」が、計量発展に寄与された功績が認められ、同協会から第12回計量功労者表彰を受賞されました。益々のご活躍を願っております。

さて、平成29年の政省令改正により特定計量器とされた自動はかり4器種のうち「自動捕捉式



ごあいさつ

一般社団法人福島県計量協会
会長 八巻 研一

はかり」の検定が、令和6年4月からいよいよ開始されます。当該計量器を使用する事業者や関係者の方々には、新しい計量器の導入や既存計量器の各種調整時期など、計画的な対応を図る必要が生じてまいります。

また、従来からの課題である一般計量士をはじめ主任計量者などの人材育成や確保について、計量関係者全体が、引き続き、取り組むことが求められております。

ご承知のように、国連では、いわゆる「SDGs」と呼ばれている「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されています。このアジェンダでは、貧窮、保健や、つくる責任つかう責任など17の目標を掲げた開発目標が示されており、世界が抱える課題を解決し、誰一人取り残さない国際社会の実現を目指し進めています。

「はかることは全ての基本」となるものです。計量関係に携わる私たちは、まさに「計量人」としての自信と誇りを持って、適正な計量が経済的発展や文化の向上に果たす役割を再認識し、将来の世代へと技術や知見を繋ぐこと、持続的事業運営を図っていくことが極めて重要です。

参	顧	監	監	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	専	副	副	副	会
与	問	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	務	会	会	会	長
加	望	長	武	柏	加	林	伊	池	鎌	布	齋	武	大	遠	内	高	奥	安
藤	木	澤	田	原	藤	藤	田	田	川	藤	居	原	藤	道	達	橋	野	部
高	昌	祐	和	達	徳	俊	信	善	真	敏	高	厚	滋	道	達	啓	野	卷
明	彦	嗣	夫	之	文	之	弘	一	二	男	裕	志	幸	行	男	稔	道	幸
																		昭

このため、今後とも、計量関係機関・団体等と連携を図るとともに、皆様のご理解をいただきながら、計量関係者全体が一体となって、様々な課題解決に向けた取組みを着実に進めて参りたいと考えております。

どうぞ、皆様には、当計量協会、計量関係団体等に対しまして、引き続き、変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、今年一年が皆様にとって幸多き年でありましたことを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人福島県計量協会
(敬称略)



新年のごあいさつ

福島県計量検定所
所長 五十嵐昌徳

新年明けましておめでとうございませう。

皆様方には、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃から、本県の計量行政の推進に御理解と御協力をいただいておりますことに心より御礼を申し上げます。

昨年5月に、3年以上もの長きにわたって、私たちの健康はもとより、多方面に大きな影響を及ぼしてきた、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が「5類」に引き下げられました。様々な行動制限がなくなり、活発な社会経済活動が期待されたところですが、長引くウクライナ情勢や収まらない円安の影響等による物価高は、事業者の経営や私たちの生活に大きな打撃を与え続けました。

原発事故に伴う帰還困難区域では、昨年、県内6町村に設けられた全ての特定復興再生拠点区域（復興拠点）において、避難指示が解除されました。さらに復興拠点から外れた地域においても新たに区域を指定し、除染等を順次進めることができる

よう法改正もなされました。生活環境の整備や働く場の確保など、様々な課題はありますが、県として、引き続き、国や地元自治体等と緊密に連携し、復興と再生に取り組んでまいります。

計量行政の動きをみると、昨年は平成5年の計量法全面改正から30年の節目の年でありました。この間、地方自治体に関わる大きな出来事としては、平成12年4月施行の地方分権一括法により計量法に基づく事務の多くが自治事務化したことであり、自治体の自主的な事務執行が図られることになりました。その一方で、検定所の必置規制と計量に係る教習受講義務が廃止されたこともあり、計量担当職員の確保・育成が課題となっている自治体も見られるところ

です。今年4月からは自動捕捉式はかりの検定が義務化されるため、検定を実施する指定検定機関の指定が進められております。また、国全体としてデジタル社会の実現に向けた動きが加

速していることから、計量行政においても、検定・検査等におけるデジタル技術の導入や手続きのデジタル化について、検討や取組が進められているところ

です。さて、今年の計量検定所の業務ですが、計量制度は私たちの日常生活や様々な経済社会活動の根幹を支える重要な制度であることから、引き続き職員の数に關する知識や技術の習得、レベルアップを図り、公平で公正な検定・検査に取り組んでまいります。さらに、「親子計量体験教室」、小学校での「計量出前教室」や大人向けの「計量ステップアップセミナー」などを実施し、計量思想の普及啓発にも努めてまいりますので、今年も皆様の御指導と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の今後益々の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

令和5年度計量協会事業状況報告

(敬称略)

1 会議について
(1) 予算理事会
令和5年3月29日 福島市

「杉妻会館」において開催された。

令和5年度事業計画と収支予算などについて審議され、いずれも承認された。

(2) 決算理事会

令和5年4月26日 福島市「ホテル福島グリーンパレス」において開催された。

前年度の事業報告・収支決算書の承認他、通常総会における計量功労者表彰、役員の変更、令和5年度通常総会、東北・北海道計量大会など今後の事業予定についての議事が提案され、いずれも承認された。

(3) 通常総会

令和5年6月14日 令和5年度第9回通常総会が、福島市「ホテル福島グリーンパレス」において出席者及び委任者を含めて125名によって開催された。

来賓として、鈴木慎也県商工労働部商工総務課長、五十嵐昌徳県計量検定所長、各特定市の計量検査所長他の出席をいただいた。

事業報告・収支決算、事業計画、収支予算、役員の変更等、全ての議事が可決・承認された。また、席上「令和5年度計量功労者」として5名が表彰され、受賞者を代表して加藤高明（加藤計量士事務所）が謝辞を述べた。（受賞者は別掲）

○ 議事の概要

- ① 令和4年度事業報告
- ② 令和4年度収支決算
- ③ 令和5年度事業計画(案)
- ④ 令和5年度収支予算(案)
- ⑤ 役員の変更・選任(案)について
- ⑥ 次期総会の開催地等
- ⑦ 令和5年度東北・北海道計量大会について



▲令和5年度通常総会

◇ (一社)日本計量振興協会 通常総会に出席

- 令和5年5月25日 東京都「ホテルインターコンチネンタル東京ベイ」にて開催
- ① 議事
- ・ 令和4年度事業報告、収支決算書
- ・ 令和5年度事業計画(案)、収支予算(案)

・ 役員の改選 他

② 令和5年度計量功労者表彰
 受賞 渡辺 恒夫
 (株)渡辺孫六商店
 銘形 賢一
 (有)銘形商会

◇ (一社)日本計量振興協会
 中間理事会出席
 令和5年11月9日 大阪市「メルパルク大阪」にて開催

2 事業について
 (1) 計量思想の普及啓発事業
 ① 11月1日の計量記念日を中心に計量強調月間として、次の事業を実施

- ・ 計量記念日ポスターを会員、県内市町村、計量器販売事業者、計量関係事業所へ配布
- ・ 計量記念日、計量思想普及啓発として、ティッシュペーパーやタオルを製作し配布
- ・ 福島市、福島市計量管理協会と協賛し、まちなか広場において一般市民への啓発として、「計量ひろば」を開催
- ・ 「計量標語」の募集

計量記念日をPRするため関係事業所、学校関係、当協会関係団体等へ計量標語を募集

- ・ 11月を計量強調月間とし

・ 会員数 165名 (令和5年4月1日)

支部名	正会員数	支部名	正会員数
福島支部	51	安達支部	9
郡山支部	39	相双支部	10
会津支部	13	団体会員	12
いわき支部	21		
白河支部	10	計	165

(2) 計量に関する講習会及び当協会関係団体の講習会
 新型コロナウイルス感染症防止の観点から一部中止

(3) 計量に関する情報収集及び提供

(4) 中央団体から提供された各種資料の配布及び情報の提供

て各団体等にポスターを配布し掲示願うとともに、一般消費者への計量意識の高揚に努めた



▲いわき市計量管理協会総会

◆いわき市計量管理協会総会

- 令和5年5月25日
- いわき市(五月荘)
- 議事
- ① 令和4年度事業報告
- ② 令和4年度歳入歳出決算報告
- ③ 役員異動内容の確認
- ④ 令和5年度事業計画(案)
- ⑤ 令和5年度歳入歳出予算(案)

以上すべての案件について承認された。

福島県内にある三つの計量管理協会(福島市、郡山、いわき市)の総会が実施された。

令和5年度
**各計量管理協会の
 総会(会議)**



▲郡山計量管理協会総会

◆郡山計量管理協会総会

- 令和5年6月30日
- 郡山市(ホテルハマツ)
- 議事
- ① 令和4年度事業報告
- ② 令和4年度収支決算
- ③ 財産目録
- ④ 令和5年度事業計画(案)
- ⑤ 令和5年度収支予算(案)
- ⑥ 会則の改正
- ⑦ 役員改選

以上すべての案件について承認された。

◆福島市計量管理協会総会

- 令和5年6月20日
- 福島市(福島テルサ)
- 議事
- ① 令和4年度事業報告
- ② 令和4年度収支決算
- ③ 令和5年度事業計画(案)
- ④ 令和5年度収支予算(案)

以上すべての案件について承認された。

東北・北海道計量大会終了後、東北六県北海道計量協会連合会総会が開催された。

**第70次東北六県
 北海道計量協会
 連合会総会**



▲計量功労者表彰の木村氏

この大会において、木村啓次氏(福島県計量証明事業者協会)が連合会長から計量功労者の表彰を受けられました。

東北六県北海道計量大会連合会主催の令和5年度東北・北海道計量大会は、10月5日札幌市「ANAクラウンプラザホテル札幌」において開催された(北海道計量協会が担当)。

**東北・北海道
 計量大会**

令和5年度 各団体の総会(会議)

一般社団法人福島県計量協会の関係団体の令和5年度総会、概ね通常総会が開催され、全ての案件について承認された。

○ 議事(関係団体共通)

- ① 令和4年度事業報告
- ② 令和4年度収支決算
- ③ 令和5年度事業計画(案)
- ④ 令和5年度収支予算(案)

◆福島県計量士会総会

- 令和5年5月24日
- 福島市(ホテル福島グリーンパレス)



▲福島県計量士会総会

◆福島県計量証明事業者協会総会

- 令和5年7月5日
- 福島市(吉川屋)



▲福島県計量証明事業者協会総会

◆福島県適正計量管理事業所協議会総会

- 令和5年8月2日
- 福島市(杉妻会館)



▲福島県適正計量管理事業所協議会総会

◆福島県計量管理大型店協議会総会

- 令和5年9月6日
- 福島市(杉妻会館)



▲福島県計量管理大型店協議会総会

◆福島県タクシメーター工業会総会

- 令和5年9月22日
- 福島市(杉妻会館)



▲福島県タクシメーター工業会総会

◆福島県計量器コンサルタント協会総会

- 令和5年10月25日
- 西郷村(五峰社)



▲福島県計量器コンサルタント協会総会

◆福島県計量工業会総会

- 令和5年12月7日
- 福島市(摺上亭大鳥)



▲福島県計量工業会総会

◆東北六県北海道計量協会・同計量士会長合同会議

- 令和5年10月5日
- 北海道札幌市(ANAクラウンプラザホテル札幌)



▲東北六県北海道計量協会・同計量士会長合同会議

◆東北・北海道計量士協議会

- 令和5年12月14日
- 福島市(杉妻会館)



▲東北・北海道計量士協議会

令和5年度表彰 受賞された皆様

(敬称略)

令和5年度に次の当協会関係の方々が表彰を受けられました。

◇(一社)日本計量振興協会

令和5年5月25日「ホテルインターコンチネンタル東京ベイ」にて令和5年度一般社団法人日本計量振興協会計量功労者表彰状授与が行われました。

令和5年度表彰

- ・渡辺 恒夫
- ・銘形 賢一

(福島県計量証明事業者協会)



▲計量功労者表彰 (一社)日本計量振興協会 (左)渡辺氏 (中央)鍋島会長 (右)銘形氏

令和5年度 福島県計量 功労者表彰者

加藤 高明
加藤計量士事務所

- ・市川 達也 (株)コスモ・エンジニアリング
- ・渡部 政介 (株)計器商会
- ・川崎 誠一 アズビル金門エナジープロ
- ・武田 豊一 ダクツ(株)白河工場
- ・アズビル金門エナジープロ
- ・ダクツ(株)白沢工場



▲表彰を受けた計量功労者



令和5年度 「何でもはかつてみよう コンテスト」入賞作品

(敬称略)

◇(一社)日本計量振興協会

◆奨励賞

・信号のかわる時間は

ちがうのか

福島大学附属小学校

向山 大志

令和5年度 全国計量啓発標語 入選作品

◇(一社)日本計量振興協会

○会長賞

・正しい計量

安心安全で

築く信頼

福島県立小高産業技術高等学校

岡部 駕樹

令和5年度 福島県計量標語10選 (敬称略)

・計量はいつも心に正しさを

西白河郡泉崎村 石井 正輝

・標準につなげる校正 つながる信頼

いわき市 安斎 巧

・いつもの作業と油断せず正しい知識と正しい計量

南相馬市 高屋 幸佳

・計量は、信頼と管理の第一歩

南相馬市 青木 博之

・適正計量 世界をつなぐ 第一歩

福島県立平工業高等学校 小野 太陽

・計量で 作る信頼 正確に

福島県立平工業高等学校 片石 和希

・計量が 未来をつくる かぎになる

福島県立平工業高等学校 鈴木 琉音

・計量が 未来へ繋ぐ 街づくり

福島県立平工業高等学校 滝口 凜

・正しい計量 安心安全 明るい社会

福島県立平工業高等学校 桑田 温貴

・計量は 未来へ繋ぎ 社会を築く

福島県立平工業高等学校 新妻 七和

◇計量管理主任者養成講習会
福島県計量管理大型店協議会、福島県計量士会共催「計量管理主任者養成講習会」を10月18日「福島県青少年会館」、11月8日「郡山ユラックス熱海」にて開催しました。



▲令和5年11月8日 計量管理主任者養成講習会

◇計量証明事業者講習会
福島県計量証明事業者協会、福島県計量士会共催「計量証明事業者主任者養成講習会」(知事が指定する5年ごとに受講する講習会)を9月27日「郡山ユラックス熱海」で開催しました。



▲令和5年9月27日 計量証明事業者主任者養成講習会

計量証明事業者試験受験のための講習会

第1回5月22日、第2回9月13日、第3回(臨時)12月6日に開催しました。第4回を令和6年2月開催予定。

念日特集

“計量記念日”

1日~11月30日=

▶計量記念日PRポスター



計量ひろば

期日 令和5年11月3日(金)
 会場 「まちなか広場」
 主催 福島市
 福島市計量管理協会
 (一社)福島県計量協会



令和5年度 計量記念日計量強調月間行事

◇計量ひろば
計量記念日を11月1日と定めて30年目となりました。

全国では、計量記念日を中心に様々な催しにより、計量思想の普及啓発が行われております。

本県におきましても、計量思想の普及啓発のため、計量記念日ポスターの配布掲示、ポケットティッシュ・タオルを作製配布しPR活動を行いました。

福島市においては、福島市計量管理協会と共催し、11月3日福島市「まちなか広場」において、飴・菓子のすくい取りゲームや、重さ当てゲームなどのイベントを行いました。

◇親子計量体験教室

福島県と当協会の共催で、7月29日に「郡山市総合福祉センター」、8月9日「福島県自治会館」と11月23日「会津若松市生涯学習総合センター」にて、親子計量体験教室を開催しました。

◇いわき計測展

第25回「いわき計測展」が11月14〜15日にいわき市駅前「ラトブ」六階(いわき産業創造館)において開催された。

この計測展は、2年に1度開催されており、いわき市計量管理協会主催、企業約17社の参加により、計測器の展示と企業PR等がおこなわれた。

また、福島県計量検定所による「計量出前教室」などがあり、盛況であった。

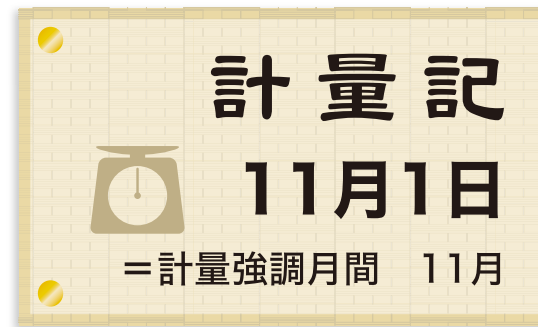


▲令和5年度計量協会のPRポケットティッシュ

〈いわき計測展〉



いわき計測展テープカット



〈親子計量体験教室〉



親子で楽しくはかり作り



私の言うことよく聞いて下さい



手袋はきちんと



この位がちょうどいい



棒はかりが間もなく完成です



お兄ちゃん少し多いと思うけど



みんなですると楽しいね



はかり作りのコツを教えます



お母さんの言う通りにしなさい!

15年度 計量記念日全国大会 計量記念日式典



令和5年度計量記念日全国大会

経済産業省と計量記念日組織委員会の主催による「令和5年度計量記念日全国大会」が11月1日、東京都港区「ホテルインターコンチネンタル東京ベイ」において盛大に開催された。

大会は計量記念日式典・記念行事・レセプションの3部構成で行われ、行事では「計量啓発標語」と「何でもはかって見ようコンテスト」の発表及び表彰が行われた。

特別講演では、原知彰氏、服部博憲氏（ソニー株式会社）による正確さの観点から「スポーツの新しい楽しみ方について」講演があった。

計量記念日全国大会

県からのお知らせ

福島県計量検定所

令和六年度特定計量器 定期検査について

スーパーや商店で量り売りに使用するばかりは、計量法の定めにより検査を受ける必要があります。

令和六年度は次表の区域で検査を予定しています。

はかりの使用者の方は必ず受検してください。

(福島、会津若松、郡山、いわきの各市では市役所で検査を実施しています。)

検査予定区域

【市の区域】
白河市(表郷、大信、東を除く)、須賀川市、喜多方市、二本松市、南相馬市、本宮市

【町村の区域】
大玉村、鏡石町、天栄村、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町、新地町、飯館村、檜葉町、富岡町、川内村、葛尾村、大熊町、双葉町、浪江町

日時、検査場所等は順次県報で告示します。また、当所ホームページでもご覧いただけます。
【検定・検査課】

計量について楽しく 学んでみませんか？

★小学生のお子様を お持ちの方へ

【親子計量体験教室】

お子様と一緒に楽しく計量を「科学」してみませんか？

計量の歴史や日常との関わりについて、クイズやゲームを通して楽しく学んだ後は、身近に手に入る部品で「棒はかり」を自作します。

作った棒はかりは持ち帰ることがができます。

★消費者の方へ

【計量ステッパアップセミナー】

スーパーや商店の商品表示のうち、正味量などの計量に関する知識について、出前講座で楽しく学ぶことができます。

ご近所のお友達などグループお誘い合わせのうえ、お気軽にお申し込みください。

★その他のイベント

【計量出前教室】

県内の小学校に職員を講師として派遣し、出前講座を実施しています。

知識の習得だけでなく、重さや長さを体感し、計量について実践的に学ぶことのできる講座

として好評をいただいています。

【指導課】

アパート等の 子メーター、検定を 受けていますか？

集合住宅や貸しビル等で、入居者やテナント等が使用した電気・ガス・水道の使用料金を所有者・管理者が設置した子メーターの指示値に基づいて徴収する場合、この子メーターに対しても計量法で定める検定有効期間が適用されます。

検定有効期間を超過すると、法令違反となるだけでなく、正しい計量ができなくなり、トラブルにつながる可能性もありますので、その前に新しい計量器と交換してください。

【検定・検査課】

計量関係事業者様へ

★計量士を目指す方へ

令和六年度において国立研究開発法人産業技術総合研究所の実施する計量教習について、以下のとおり変更となりますのでご注意ください。

- ・一般計量特定教習の廃止
- ・環境計量特別講習は濃度関係と騒音・振動関係が年度ごとのご注意ください。

交互開催となります。(令和六年度は濃度関係のみ開催)

【既存のもの】
令和十三年四月一日

お問合せは産業技術総合研究所計量教習センター(〇二九一八六一―二四二二)まで

【指導課】

計量について疑問・ お困りのことは

計量について御不明な点、またお気づきの点がありましたら、計量検定所までお問い合わせください。

(お住まいの地域により市役所の担当窓口を御案内する場合があります。)

【検定・検査課】

●お問い合わせ先

(計量法関係手続・各種講座)

【指導課】
〇二四一五二一七六五五

(計量器の検定・定期検査)

【検定・検査課】
〇二四一五二一七六五六
〇二四一五二一七六五七

★ホームページ
福島県計量検定所で検索

自動捕捉式はかり

【既存のもの】
令和九年四月一日

【新規】
令和六年四月一日

その他三種



計量士代検査 推進事業について

当協会は、昭和50年から、計量検査の主たる事業として県が行う特定計量器のうち、大型・中型・小型はかり（主として電気式はかり）の所在場所検査を代検査推進事業として実施しております。

令和5年 計量士代検査推進事業

対象地区	6市16町7村		
項目	戸数	台数	不適合
電気式はかり	779戸	1,628台	24台
機械式はかり	779戸	335台	0台
計	779戸	1,963台	24台
電気式はかり	35戸	33台	0台
機械式はかり	35戸	2台	0台
計	35戸	35台	0台

日本郵政グループ 計量管理業務について

平成16年度より（一社）日本計量振興協会から委託を受け、日本郵政グループ計量管理受託事業を実施しております。

11月報告分まで

令和5年度 日本郵政グループ計量管理業務概要

対象地区	9市21町9村
臨時局数 （同業センター数含む）	277局
窓口用はかり	278台 （②）
集荷用はかり	314台
分銅校正	695個
はかり計	592台 （②）

※○内の数は不適合数です。

指定定期検査機関事業について

平成28年度より郡山市、令和3年度より福島市の指定を受け、「取引」・「証明」に使用する特定計量器の「はかり」を対象に、計量法に基づく定期検査を実施しています。

令和5年度 郡山市特定計量器定期検査実施地域

検査月	検査実施地区
5月～12月	安積地区 田村地区 中田地区 湖南地区 富久山地区 西田地区 日和田地区 喜久田地区 片平地区 逢瀬地区 三穂田地区 熱海地区 多数地区 その他地区

令和5年度 福島市特定計量器定期検査実施地域

検査月	検査実施地区
5月～12月	飯野地区 清水地区 北信地区 信陵地区 飯坂地区 本庁地区 多数地区 その他地区

県外で活躍する計量士

- 安齋正一さん
・1941年（昭和16年）1月生
福島県安達郡（現二本松市）出身
- 東京都計量協会所属
・1962年（昭和37年）9月
築地市場のはかり検査事業開始
助手として就職
- ・1968年（昭和43年）4月
株式会社寺岡精工入社
- ・1969年（昭和44年）12月
計量士登録
- ・2003年（平成15年）3月
株式会社寺岡精工退職
- ・2003年（平成15年）4月
四代目築地市場の計量士として
再就職
- ・2005年（平成17年）1月
「計量士の心」作詞作曲 歌手
デビュー
- ・2018年（平成30年）10月
豊洲市場開場 築地市場移転

安齋正一さんは、福島県安達郡、現在の二本松市のご出身で昭和16年生まれの82歳。現在も豊洲市場の計量士として現役で活躍されています。今年4月豊洲市場での計量士の仕事について見学させていただけました。

編集後記

10年7億ドル（約1015億円）という破格の契約金でドジャースを選んだ大谷翔平選手、お金よりもまずはワールドシリーズで優勝出来るチームを選んだ。今後は、右肘を治して、160キロ（百マイル）の球速と150メートル（492フィート）越えのホームランを早く見てみたい。

小学生から高校生までの「嫌いな学科」の第一位は「数学」となっている。佐久間庸軒は、幕末に三春藩石森村（田村市船引町）で生まれ、和算や測量学などに秀で、研鑽を極めた。その和算塾は、2000人の門下生を擁したという。「自動はかり」の検定が近づく現在、是非とも、講師として呼びびたいものだ。

県は、2050年までにCO2などの温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」実現を目指している。しかし、県内の事業者等を対象にした意識調査では、回答の約七割が、自社の排出量を把握していないとのこと。

まず、削減の第一歩は、みんなが「はかる」ことから始めましょう。

○飽食を体重計に見破られ
○万歩計見る楽しみで歩きすぎ
— 計量仙人 —

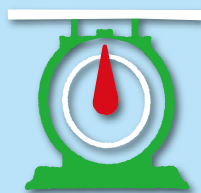


豊洲市場にてふるさとの仲間たちと

約1600台あるそうです。はかりの検査は、安齋さんと計量士補助員、学生アルバイトの方の数名で行います。4月から9月の前期、10月から3月の後期に分けて各期50日間ずつ検査を行います。検査結果について安齋さんは、「市場で使用するのは水に弱く、水産物関係のはかりに不合格が多い。そのため、はかりの使用については丁寧な指導を行っています。」と話していました。また、豊洲市場には一年中海外から大勢の見学者が訪れます。検査以外でも市場の関係者として、日本独自資格である計量士の役割など、ご自身で英語の資料を作成して対応するなど、何事にも前向きに取り組む姿勢に感銘を受けました。

「正確さ」で未来を築く

- 工業用・商業用・水産用・家庭用各種
- ロードセル式はかり設計・施工
- 公的質量標準供給体制による証明・検査
・・・ご相談ください。



計量器の製造・販売・修理・検査
いわき計量商事株式会社

〒970-8036 いわき市平谷川瀬二丁目5-1
TEL 0246(21)4663 FAX0246(22)4729

URL <https://www.iwaki-keiryo.com>

より地域に密着し、あらゆるニーズにお応えします

- ◆ 計量機の販売・保守・修理
- ◆ 給油所等、危険物施設の保守点検及び改修・補修工事
- ◆ 地下タンク及び移動タンクの検査・清掃
- ◆ 給油所、油槽所等の土壌調査・分析浄化・修復

※危険物施設の定期点検は、消防法で義務づけられています。

 **株式会社 ツ** 東北支店

【郡山営業所】 〒963-0101 郡山市安積町日出山 2-121
【いわき営業所】 〒973-8402 いわき市内郷御厩町 1-216

 **050-9000-5600**
 **050-9000-5603**

計量器製造販売修理事業届出事業所
地下タンク・移動貯蔵タンク定期点検認定事業所

各種はかりの保守管理・修理・販売
ガソリン計量器の保守点検・修理・販売
地下タンク・移動貯蔵タンクの定期点検

県南計器株式会社

(株式会社 富永製作所代理店)

〒963-0112 郡山市安積町成田字島ノ後33番地の5 TEL(024)945-1385 FAX(024)945-1796



計って運べる一台二役
キャリーウェイCWシリーズ

はかり一筋
三信計器株式会社

〒960-8204 福島市岡部字根深 1 2 5
TEL 024-525-4580 FAX 024-525-4581

リユース(再利用)で処分費用削減も承ります!

※リユースできる品目は限られます

不用品片づけ お困りごとなんでも ご相談ください



☎024-524-2345

受付(平日)
10:00~17:00

HPからも問い合わせ可能です <https://www.konno.gr.jp>

急ブレーキ 急発進 **注意**

トラックの乗り入れには十分気をつけて!!

(大型はかり急ブレーキ、急発進注意の看板がありますご希望の方は下記まで!)

信頼のきずなを 結ぶ正しい計量

(計量証明は知事の登録を受けなければなりません)



貨物の計量は
県知事登録事業所で

計量証明事業者標章

福島県計量証明事業者協会 福島市杉妻町2番16号 (一社)福島県計量協会内
☎(024)521-4035

正しい計量取引を推進しましょう!

- 1に水平
- 2に零点
- 3にガタガタしないことヨ!!



検査に該当する「はかり」取引・証明に使用できる例

- ①商店・スーパー等で肉や魚、惣菜等の重さを計量するはかり
- ②学校、病院等で健康診断等に使う体重計
- ③薬局・病院等で使用する薬調剤用のはかり
- ④荷物運送業等で運賃計算に使用するはかり



福島県計量士会では、JCSSによる一軸試験機(各種)の校正もOKです。お申し込み下さい。

- 一軸試験機
- ・圧縮試験機
 - ・引張試験機等
- 他



◆計量士の資格をお持ちの方、大歓迎!!



計量の検査・何でも相談ください。
福島県計量士会

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号
(福島県計量検定所内)

TEL&FAX.024(521)4035

E-mail/fk-fukushima51@rapid.ocn.ne.jp

スマート化の 取組み



アズビル金門はSMaaS™で
スマート社会の実現に貢献します。

電力、ガス、水道+αのデータを重ね合わせた新たな価値を社会へ提供

新たな
価値・サービスを
創出

データ
連携・分析・加工

広域・統合
データPF

データ収集
(MDMS)

計量



広域・統合データPF上で様々な
データやツールが連携・連動



検針+粒度の高いデータ収集による
われわれの生活や経済活動の把握



福島営業所
 〒960-8163 福島市方木田字谷地17番地9
 TEL :024-545-3411 FAX:024-546-9621
 URL :https://ak.azbil.com/

製品に関するお問い合わせ
製品サポートセンター 0800-222-3322 (通話無料)
 受付時間:10:00~12:00 13:00~17:00
 (土曜、日曜、祝祭日、および年末年始、春季、夏季の弊社休業日を除く)



企画・設計製作・メンテナンス・改造・プラント

COSMO ENGINEERING

FAシステム部・計量システム部
 メカトロ一体の会社です
 少数精鋭で技術力のある会社です
 小回りの利く会社です



株式会社 **コスモエンジニアリング**

福島市下鳥渡字新町西3番地の1
 TEL.024-545-5797
 FAX.024-545-5898
<http://www.cosmo-fukushima.co.jp>